

## 共通教育教養科目（学問分野別・主題探究型科目）シラバス登録の手引き

共通教育教養科目をご担当いただき、ありがとうございます。

学問分野別科目と主題探究型科目は、講義を主体とする8回で1単位の科目です。同じ科目を2度担当される場合、学生は重複履修できませんので、2度とも同じ授業内容（同じシラバス内容）で差し支えありません。下記の【科目の趣旨】に沿った授業計画を立て、専門知識のない全学の学生が受講できる授業内容・レベルに設定していただきますようお願いいたします。

なお、全学版の「シラバス登録の手引き」に従って、特に次の事項にご配慮ください。

- ・「授業概要」の欄に“授業を実施する形態”を必ず記入してください。
- ・非同期型遠隔授業の場合は「課題の提出や小テストの受験をもって出席とみなす」など、出席に相当する条件も記載してください。

### 【科目の趣旨】

#### ○学問分野別科目＜非同期型遠隔授業＞

基本的には**大人数クラス（120～180人程度）**で、各学問分野のものの見方・方法論及び基本的知識を身に付けることを目的として、初めてその学問を学ぶ学生を対象に開講する。必須事項として、**学問分野自体の紹介を授業内容の一部に含める**。総合的な学問分野では、その一部の分野・領域の紹介でもよい。

#### ○主題探究型科目＜対面授業＞

基本的には**小規模クラス（30～50人程度）**で開講する。教員が**探究主題（問い）**を授業題目として設定する。これを基に学生が自ら学習課題を設定して、主体的に学習を行いながら課題を探究する。汎用的能力育成という視点から、学生へのフィードバックを行う双方向型のレポートの活用等、アクティブ・ラーニングを促すための手法を組み入れる。

※特に次の点にご注意ください。

主題探究型科目も講義を主体とする科目であり、実習を主体とする科目ではありませんので、**実習・実技・野外調査やリアルタイムのグループワーク等の活動は、全8回の授業時間の一部（およそ3割程度まで）に留めてください**。また、これらの活動を授業時間外に課すと学生に不利益が生じる場合がありますので、教員の指導のもと**正規の授業時間内に実施**するようにしてください。

### 【シラバス記入要領】

#### 授業題目

**授業科目名と授業題目は同一または非常に似通ったものは避けてください。**

学問分野別科目では、主な話題となる分野・領域が分かるように授業題目を設定してください。主題探究型科目では、授業における探究主題（問い）を授業題目として設定してください。

#### 授業の目的

#### 授業の到達目標

学問分野別科目、主題探究型科目の趣旨に沿って、授業の目的、到達目標を記入してください。

#### ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）／ 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

特に関係すると思われる 1～2項目をチェックしてください。

## 授業概要・授業スケジュール

### ○学問分野別科目

120～180人程度の、初めてその学問を学ぶ受講生を対象に、非同期型遠隔授業を実施することを想定してください。

その学問分野がどのような研究分野・領域からなり、研究者は何を研究しているのか等について紹介することを、授業内容の一部に含めてください。（例えば、学生は小学校から高校まで算数・数学を学修してきましたが、学問分野としての「数学」がどのような研究分野・領域からなり、研究者は何を研究しているのかについて、殆ど知らないと思われます。）このような学問分野自体の紹介を授業内容の一部に含めることが、学問分野別科目の趣旨につながります。総合的な学問分野では、その一部の分野・領域の紹介でも結構です。

#### 〈学問分野別科目の「授業概要」の例〉

本授業はMoodleを使用した非同期型の遠隔授業である。初めに歴史学の学問分野について俯瞰する。歴史学とはどのような学問か、またどのような研究分野や学会があるか、歴史的なものの見方・考え方とはどのようなものかについて学習する。次いで中国を中心とするアジアの歴史と文化について学習する。具体的には中国の近世、特に宋・元代を中心に、政治・社会・経済・文化・国際情勢等について学ぶ。最後に総まとめと振り返りを行う。

### ○主題探究型科目

30～50人程度の受講生を対象に、対面授業を実施することを想定してください。

授業における探究主題（問い）を基に、学生が自ら学習課題を設定できるように配慮してください。また、汎用的能力育成という視点から、アクティブ・ラーニングを促すための手法を組み入れてください。シラバス入力画面では以下の手法がリストアップされますので、主要なものを1～3個選択してください。

#### 〈主題探究型科目におけるアクティブ・ラーニングを促すための手法〉

- |  |                       |
|--|-----------------------|
| ◆Problem Based Learning / Project Based Learning | ◆ロール・プレイング / シミュレーション |
| ◆調査  | ◆ペア・グループワーク           |
| ◆実習  | ◆ディスカッション / ディベート     |
| ◆実技  | ◆プレゼンテーション            |
| ◆実験  | ◆双方向型演習               |

#### 〈主題探究型科目（対面授業）の「授業概要」の例〉

本授業は対面授業で開講する。本授業では、講義に加えて化石の観察実習を行い、生物の生存戦略について理解を深める。第1～5回の講義では、生物の変遷と地球環境の変化について学習する。第6～7回では、講義に化石の観察実習を交え、提示された古生物（観察実習した化石から選定）について調べて取りまとめる。第8回では、その取りまとめた成果についてペアワーク及び全体共有を行い、「生物の形態とその適応・進化」について考える。

## 受講条件

学問分野別科目と主題探究型科目は全学の初学者を対象としますので、「受講条件」を記入しないでください。